

# 平成 28 年度 安曇野検定

## 問題用紙

### 一般の部【基本編】

検定時間 45 分間

- ◎指示があるまでは、この問題用紙を開かないでください。
- ◎試験開始までに、次の注意事項をご確認ください。
  - 解答用紙に、受検番号・氏名を記入してください。
  - 問題は、全部で 50 問です。
  - 解答は、すべて四者択一式です。解答用紙の所定の欄の番号をはっきりとわかるように○で囲んでください。（複数記入は無効です。）
  - 鉛筆又はシャープペンで記入してください。
  - 訂正する場合は、消しゴムできれいに消して、書き直してください。
  - 問題用紙に落丁・乱丁・印刷不鮮明などがある場合は、係員に申し出てください。
  - 試験開始後、25 分～35 分までは退出を認めます。
- ◎35 問以上の正解で合格です。結果については、2 月 17 日(金)以降に受検者本人宛てに通知します。
- ◎この問題用紙はお持ち帰りください。

平成 29 年 1 月 29 日  
安曇野市教育委員会



## 第1問

安曇野市で、昭和の大合併よりも前にあった旧村と、その村があった現在の地域の組み合わせとして、適切でないものはどれでしょうか。

- ① 高家村・豊科地域
- ② 南穂高村・穂高地域
- ③ 烏川村・堀金地域
- ④ 中川手村・明科地域

## 第2問

三郷地域の「三」は、三郷村として合併する前の3つの村を表しています。その村は、小倉村と明盛村と、あともう1つは何という村でしょうか。

- ① <sup>ゆたか</sup>温村
- ② <sup>ななき</sup>七貴村
- ③ 有明村
- ④ <sup>たきべ</sup>高家村

## 第3問

右の写真は、安曇野市の「市の木」として定められた樹木です。屋敷林としてもなじみのあるこの樹木の名前はどれでしょうか。

- ① クヌギ
- ② アカマツ
- ③ スギ
- ④ ケヤキ



## 第4問

平成27年（2015）10月1日の安曇野市制施行10周年を記念して制定されたものはどれでしょうか。

- ① 市歌
- ② 市章
- ③ 市花
- ④ 市鳥

## 第5問

安曇野市の気候は中央高地式気候（内陸性気候）に分類されますが、この気候の特徴として適切でないものはどれでしょうか。

- ① 年間を通して湿度が低めである
- ② 梅雨がない
- ③ 年間の降水量が少ない
- ④ 日較差、年較差が大きい

## 第6問

下の写真のように、安曇野市の東側から北アルプスを眺めたとき、山の位置を左手から正しい順番で並べてあるのはどれでしょうか。

- ① 燕岳 → 大天井岳 → 蝶ヶ岳 → 常念岳  
 ② 蝶ヶ岳 → 燕岳 → 常念岳 → 大天井岳  
 ③ 常念岳 → 蝶ヶ岳 → 燕岳 → 大天井岳  
 ④ 蝶ヶ岳 → 常念岳 → 大天井岳 → 燕岳



## 第7問

燕岳に代表される安曇野市北西部の地質はどれでしょうか。

- ① 泥岩・砂岩      ② 花崗岩      ③ 玄武岩      ④ 結晶片岩

## 第8問

豊科温泉（湯多里山の神）の泉質はどれでしょうか。

- ① 単純硫黄泉      ② アルカリ性単純温泉  
 ③ ナトリウム炭酸水素塩泉      ④ 単純硫化水素泉

## 第9問

安曇野市で上水道水源として初めて井戸を掘削したのは昭和5年ですが、その水源は、何という名称でしょうか。

- ① 上鳥羽水源      ② 上堀水源      ③ 下堀水源      ④ 新田水源

## 第10問

安曇野市の最低地点（明科地域睦橋下流）は、標高何mでしょうか。

- ① 397m      ② 497m      ③ 597m      ④ 697m

## 第11問

安曇野市を流れる河川とその河川の源流部にある山の組み合わせとして、適切でないものはどれでしょうか。

- ① 烏川・常念岳      ② 中房川・燕岳  
 ③ 奈良井川・蝶ヶ岳      ④ 梓川・槍ヶ岳

## 第12問

安曇野市からはたくさんの雪形を眺めることができますが、中でも最もポピュラーな常念岳に現れる常念坊の雪形は、お坊さんが何を持っているといわれているでしょうか。

- ① 印籠                      ② 徳利                      ③ 巾着                      ④ 煙草入れ

## 第13問

安曇野から見える雪形のしんがりで、明科などのごく限られた地域からしか望めない東天井岳に現れる雪形の動物はどれでしょうか。

- ① 仔犬                      ② 仔熊                      ③ 仔狐                      ④ 仔狸

## 第14問

安曇野市の原風景に屋敷林があります。屋敷林は安曇野の季節風を防ぐほかに、燃料や肥料、建築材等に重宝されてきましたが、もう1つの大切な役目はどれでしょうか。

- ① 屋敷の鳥よけ                      ③ 落ち葉や落ち枝の害を防ぐ  
② 害虫から屋敷を守る                      ④ 屋敷の乾燥を保つ

## 第15問

梓川や犀川、中房川に生育する樹木で、若木の木肌は白く、小枝が冬の間は美しい紅色に染まります。梓川と奈良井川の合流点付近にあるものは市の天然記念物に指定されているこの植物はどれでしょうか。

- ① オオタチヤナギ    ② ケシヨウヤナギ    ③ ツクバネウツギ    ④ オノエヤナギ

## 第16問

安曇野市でも駆除がすすめられている帰化植物で、他の樹木に絡みつき、覆い尽くして枯らしてしまう、繁殖力の非常に強い植物はどれでしょうか。

- ① マルバアサガオ                      ② アメリカネナシカズラ  
③ アレチウリ                      ④ マルバルコウソウ

## 第17問

安曇野市内にある次の堰のうち、江戸時代に明科地域で開削された堰はどれでしょうか。

- ① 新堀堰                      ② 庄野堰                      ③ 横沢堰                      ④ 五ヶ用水

## 第18問

安曇野には多くの用水が引かれていますが、縦堰に対する横堰の説明として、適切でないものはどれでしょうか。

- ① 水量が多い
- ② 水量がほぼ一定である
- ③ 水温が低い
- ④ 流れがゆっくりしている

## 第19問

6世紀後半から7世紀にかけてつくられたと考えられている穂高古墳群F9号墳の発掘調査が行われている公園はどれでしょうか。

- ① 松尾寺山公園
- ② 国営アルプスあづみの公園
- ③ 穂高公園
- ④ 常念ふれあい公園

## 第20問

道祖神は古来より民間信仰の対象でしたが、安曇野に道祖神が多い理由の説明として適切でないものはどれでしょうか。

- ① 松本藩が豊かになった安曇野の治安維持対策として道祖神の造立を積極的に進めた
- ② 安曇野の石工の存在は勿論、有能な高遠石工が近世高遠領だった山形、朝日など比較的近くにいた
- ③ 材料となる花崗岩が烏川水系で得られ、また、梓川水系のものも得やすかった
- ④ 拾ヶ堰開削以降、生活が豊かになり、増産増収の願いの高まりとともに道祖神への信仰が深まった

## 第21問

安曇野市における次の伝統的な行事のうち、市内各地で行われているものはどれでしょうか。

- ① 福俵曳き
- ② 安曇野水まつり
- ③ オフネ祭り
- ④ おびしゃ奉射祭

## 第22問

市の天然記念物のヒノキがある神社は吉野神社と、もう1つはどの神社でしょうか。

- ① 潮神明宮
- ② 熊野神社
- ③ 賀茂神社
- ④ 住吉神社

## 第23問

堀金地域岩原地区の御種神社（右の写真）で、信仰の対象となっているものは何でしょうか。

- ① 杉の大木                      ② 湧水
- ③ 巨岩                            ④ 桑の大樹



## 第24問

安曇野市には、県宝に指定されている仏像が3件あり、その内の2件が明科地域にあります。1件は光久寺の木造日光菩薩立像・月光菩薩立像で、もう1件は何でしょうか。

- ① 雲龍寺の木造大日如来坐像                      ② 長光寺の木造薬師如来坐像
- ③ 泉福寺の木造金剛力士立像                      ④ 龍門寺の木造観音菩薩坐像

## 第25問

安曇野市内にある神社仏閣の名称と場所（地域）の組み合わせとして、明らかに間違っているものはどれでしょうか。

- ① 満願寺・穂高地域                      ② 賀茂神社・堀金地域
- ③ 光久寺・明科地域                      ④ 住吉神社・豊科地域

## 第26問

お腹に金字で「大<sup>おおあたり</sup>當」と入れ、ふさふさとした黒い毛で眉やひげを表現することなどが特徴の「松本だるま」は、安曇野市内の神社でも作られています。その神社はどれでしょうか。

- ① 玄<sup>げんば</sup>蕃稻荷神社                      ② 穂高神社                      ③ 住吉神社                      ④ 潮<sup>うしお</sup>神明宮

## 第27問

豊科本村大日堂前には「ヤチマタヒコノカミ、ヤチマタヒメノカミ、クナトノカミ」と彫られた神代文字碑があります。この文字は神官の呪文文字とされていますが、何文字といわれているのでしょうか。

- ① 阿比留文字                      ② 出雲文字                      ③ カタカムナ文字                      ④ 対馬文字

## 第28問

穂高地域の有明新屋にある曾根原家住宅（国重要文化財）は、安曇野市をはじめ中信地方で特有的な民家形式の最も古い形ではないかと考えられています。その民家形式はどれでしょうか。

- ① 入母屋造                      ② 寄棟造                      ③ 本棟造                      ④ 合掌造

## 第29問

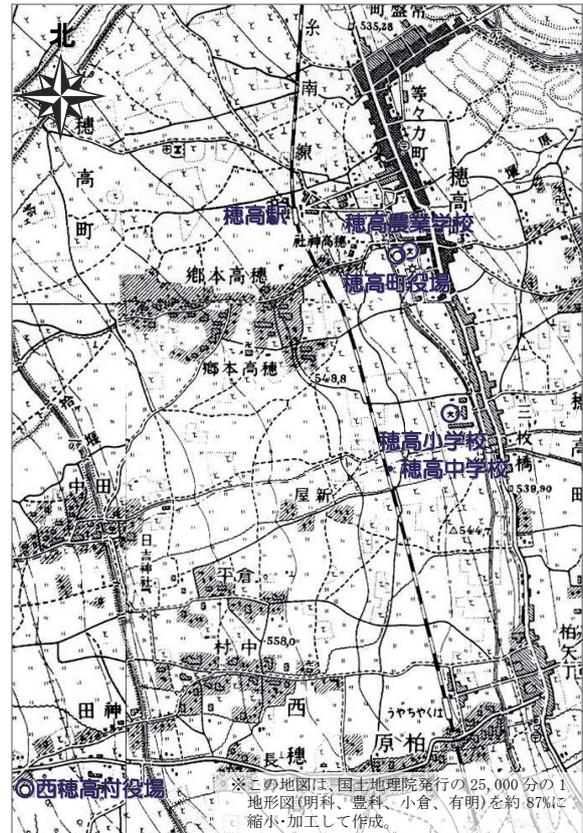
平成23年（2011）4月から施行された条例で、平成24年（2012）12月の豊科地域における「線引き制度」の廃止に深く関わっているものはどれでしょうか。

- ① 安曇野市地下水の保全・涵養<sup>かんよう</sup>及び適正利用に関する条例  
 ② 安曇野市屋外広告物条例  
 ③ 安曇野市議会基本条例  
 ④ 安曇野市の適正な土地利用に関する条例

## 第30問

右の地図は、昭和22年（1947）の穂高地域の市街地およびその周辺部の範囲を切り取った地図です。この古い地図を見て、現在ある穂高交流学習センター「みらい」の場所の説明として適切なものはどれでしょうか。

- ① 穂高町役場のあるあたり  
 ② 穂高小学校・穂高中学校のあるあたり  
 ③ 西穂高村役場のあるあたり  
 ④ 穂高駅の西側のあたり



昭和22年（1947）の地図

## 第3 1問

安曇野市域における道路に関する歴史として、次のAからDの出来事を年代の古い順に正しく並べてあるのはどれでしょうか。

- A 長野自動車道豊科ICが開設された
- B 穂高町において、かつての千国街道の東側に国道147号バイパスが整備された
- C 安曇広域農道の全線が開通した
- D 国道19号が一級国道に指定された

- ① D→B→C→A    ② B→D→A→C    ③ B→D→A→C    ④ D→C→B→A

## 第3 2問

野菜や果物の栽培が盛んな市町村を結ぶ約32kmの「日本アルプスサラダ街道」の起終点になっているのは、どこでしょうか。

- ① Vif穂高
- ② アルプス安曇野 ほりがねの里（道の駅）
- ③ <sup>にれ</sup>楡の里 三郷サラダ市
- ④ 国営アルプスあづみの公園

## 第3 3問

現在、安曇野市の水道水の水源は、ほぼ100%が地下水となっていますが、安曇野市の飲用水に関係する出来事として間違っている記述はどれでしょうか。

- ① 比較的水の得やすい地域では、昭和30年代以前に、上水道や簡易水道の整備が進められていた
- ② 地下水位が低く、井戸を掘るのも容易でない地域では、明治～昭和初期は、河川や堰の流水を飲用水に利用していた
- ③ 昭和30年代の上水道の敷設工事には、配水路の敷設路の掘削に住民が協力し、ツルハシやスコップを使って工事が行われた
- ④ 光橋近くに「アクアピア安曇野」という上水道施設がつくられ、平成9年度（1997）に運用を開始した

## 第3 4問

安曇野市内にある公園に関する次の説明文のうち、三郷文化公園について述べているものはどれでしょうか。

- ① 花の名所で、約1,000株あるといわれるボタンや、長さ20mの藤棚などがある
- ② 公園の入り口に大きなユリノキの並木道がある
- ③ 展示室など室内で楽しめる施設がある
- ④ 安曇野市を一望できる展望台がある

第35問

安曇野市内にある公園で、園内を通る河川でカヌーが楽しむことができるのは、どの公園でしょうか。

- ① かじかの里公園
- ② 室山アグリパーク
- ③ 県営烏川溪谷緑地
- ④ 龍門淵公園

第36問

安曇野市内にある右の写真の建物は、何でしょうか。

- ① 豊科郷土博物館
- ② 穂高郷土資料館
- ③ 貞享義民記念館
- ④ 臼井吉見文学館



第37問

明治37年に、安曇電気株式会社によって開設された発電所は、どれでしょうか。

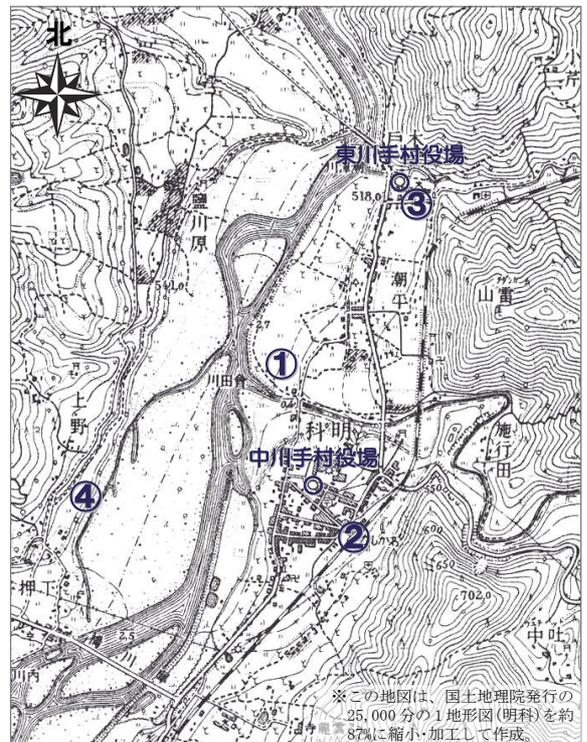
- ① 宮城第一発電所
- ③ 烏川第一発電所
- ② 犀川発電所
- ④ 高瀬川第一発電所

第38問

右の地図は、昭和22年（1947）の明科地域の市街地とその周辺部を切り取った地図です。

この地図上に、以下①～④の現在のおおよその位置を示しています。この位置が明らかに間違っているものはどれでしょうか。

- ① 明科高等学校
- ② 明科駅
- ③ 明科中学校
- ④ 明科工場団地



昭和22年（1947）の地図

## 第39問

日本で一番広いわさび田をもち、多くの観光客で賑わう「大王わさび農場」で、わさび田が開墾され始めた年代と、売店やレストランなどがつくられ観光地化し始めた年代の組み合わせとして適切なものはどれでしょうか。

- |                  |                   |
|------------------|-------------------|
| ① 開墾され始めた年代：昭和初期 | 観光地化し始めた年代：昭和30年代 |
| ② 開墾され始めた年代：大正初期 | 観光地化し始めた年代：昭和30年代 |
| ③ 開墾され始めた年代：昭和初期 | 観光地化し始めた年代：昭和40年代 |
| ④ 開墾され始めた年代：大正初期 | 観光地化し始めた年代：昭和50年代 |

## 第40問

安曇野における昭和初期の農業形態の変化に関する次の文章にある（A）～（D）にあてはまる用語の組み合わせとして最も適切なものはどれでしょうか。

太平洋戦争中に実用が進んだナイロンなどの化学繊維の急速な普及に伴い、（A）の生産が落ち込み、（B）は次第に衰えていきました。さらに昭和40年代以降は、工場進出などに伴う農家の次男、三男の農業離れや、（C）事業等により（D）の水田化や果樹園化が進み、（B）を営む農家は少なくなっていきました。

- |         |       |      |      |
|---------|-------|------|------|
| ① A：桑の木 | B：製材業 | C：水利 | D：森林 |
| ② A：生糸  | B：養蚕業 | C：水利 | D：桑畑 |
| ③ A：生糸  | B：養殖業 | C：間伐 | D：森林 |
| ④ A：桑の木 | B：製材業 | C：間伐 | D：桑畑 |

## 第41問

安曇野市域では、昭和40年代まで盛んに行われ、その後、機械化の進展とともに減少してきた仕組みで、隣近所が共同で田植えや稲刈りを行う作業の制度のことを何というでしょうか。

- |     |      |      |     |
|-----|------|------|-----|
| ① 結 | ② 普請 | ③ 隣組 | ④ 講 |
|-----|------|------|-----|

## 第42問

様々な農産物を生産している安曇野市において、穂高いんげんとともに穂高地域のある地区名の名を冠して「信州の伝統野菜」に認定されている野菜の種類は何でしょうか。

- |        |      |       |       |
|--------|------|-------|-------|
| ① かぼちゃ | ② 大根 | ③ 玉ねぎ | ④ トマト |
|--------|------|-------|-------|

## 第43問

昭和50年代中頃から、三郷村においてりんごの栽培面積が大きく増加した要因として適切でないものはどれでしょうか。

- ① りんごの海外への輸出の増加
- ② 農業水利事業
- ③ ほ場整備事業
- ④ 矮化栽培わいかの導入

## 第44問

安曇野市の林業に関する出来事として記述したA～Dを、年代の古い順に正しく並べたものはどれでしょうか。

- A：エネルギー革命により、薪炭林における薪や木炭の生産が急激に落ち込んだ
- B：南安曇郡内の16の製材所を統制する会社として「南安木材株式会社」が設立された
- C：青木花見が松本領の木材の一大集積地だった
- D：木質ペレットを燃料とする「ペレットストーブ」と呼ばれる暖房器具が登場した

- ① C→A→B→D
- ② A→C→D→B
- ③ C→B→A→D
- ④ A→B→C→D

## 第45問

昭和10年代まで犀川の支流で盛んだった鮭漁が途絶えてしまった理由として、適切なものはどれでしょうか。

- ① 鮭が養殖できるようになった
- ② 法律により鮭漁が規制された
- ③ 犀川の下流にダムがつくられた
- ④ 外国から入ったウイルス性の病気が蔓延した

## 第46問

信州サーモンは、明科地域の長野県水産試験場で開発された新品種で、地域の新たなブランドにもなっています。この魚を使った料理を食べられるお店には、目印として、その魚の身の色と似た色ののぼり旗が掲げられています。その色は何色でしょうか。

- ① ピンク色
- ② 白色
- ③ 黄色
- ④ オレンジ色

### 第47問

昭和30年代中頃まで、豊科や穂高の市街地の賑わいを支え、その後、衰退していった「二業地」とは何のことでしょうか。

- ① 料理店と芸者置屋の二業の営業が許可されていた土地
- ② 卸売業と小売業の二業が混在していた土地
- ③ 商業と工業の二業が混在していた土地
- ④ 小売店と料理店の二業の営業が許可されていた土地

### 第48問

昭和30年代以降の商業に関する変化として、適切でないものはどれでしょうか。

- ① 穂高地域の国道147号沿いに商業施設が多数出店した
- ② 豊科地域や明科地域の市街地に大型のスーパーマーケットはつくられなかった
- ③ 市内各地の幹線道路沿いにコンビニエンスストアが進出した
- ④ 穂高、三郷、堀金の各地域の広域農道沿いに大型のスーパーマーケットが進出した

### 第49問

安曇野市の工業に関係する出来事として記述したA～Dを、年代の古い順に正しく並べたものはどれでしょうか。

- A：松本・諏訪地区が「新産業都市」に指定された
- B：中川手村（現在の明科地域）に国営の製材所がつけられた
- C：長野自動車道豊科IC（現 安曇野IC）が開設された
- D：地元で栽培した果物や野菜でワインやジュースなどを製造販売する工場がつけられた

- ① B→A→D→C    ② D→B→C→A    ③ A→B→C→D    ④ B→D→A→C

### 第50問

古代に、安曇野市の辺りに移り住んできたとされる「阿曇（安曇）族」の縁で、旧穂高町の時代から現在まで交流を続けている自治体はどこでしょうか。

- ① 武蔵野市                      ② 東金市                      ③ 江戸川区                      ④ 福岡市東区